

## 令和4年度やましろ未来っ子はぐくみネットワーク 推進協議会

山城教育局では、「やましろ未来っ子はぐくみネットワーク地域支援事業」において、「やましろ未来っ子はぐくみネットワーク推進協議会」を設置しています。本協議会は、山城地方における家庭教育支援の実態の把握に努め、積極的かつきめ細やかな家庭教育支援に向けたネットワークづくりを推進し、社会総がかりで子どもを守り育てる環境づくりを進めています。

企画運営に携わっていただいています協議会委員の皆さま



会 長	元京都文教短期大学ライフデザイン学科 教授	森川 知史
副会長	木津川市社会教育委員会委員長	高原 和子
委 員	京都医療少年院 法務教官	青木 英明
	元保育園長・城陽市子育て支援課職員	大西 康子
	京田辺市 民生児童委員	島谷 千織
	男山第二中学校区 学校支援地域本部長	金子 啓子
	山城地方小中学校長連絡協議会副会長 久御山町立久御山中学校長	布川 宏
	山城地方 PTA 連絡協議会副会長	奥西 敦子
	山城北保健所 綴喜分室長	大西 純二



### 令和4年度事業内容

- 第1回子育てサポータースキルアップ講座(令和4年6月26日)
- 第2回子育てサポータースキルアップ講座(令和4年8月1日)
- 第3回子育てサポータースキルアップ講座(令和5年1月下旬 開催予定)

- 第1回推進協議会(令和4年6月7日)
- 第2回推進協議会(令和4年8月1日)
- 第3回推進協議会(令和5年1月下旬開催予定)

## やましろ未来っ子はぐくみネットワーク推進協議会委員の皆さまからの一言

森川 知史(もりかわ としふみ)です。今年3月まで京都文教短期大学ライフデザイン学科で主にコミュニケーションをテーマに講義していましたが定年を迎えました。今も他の大学で非常勤を続けています。人との話し方、向き合い方、関わり方等を学生と一緒に考えています。

社会教育にも長年関わってきました。よりよい社会を考えると、人間関係のあり方は常に不可分の課題です。子育てというのも、個別の家の中に閉じ込められたプライベートなものではなく、地域社会でのあらゆる人間関係の中で捉えられるべきものなのでしょう。子どもがどのように育って行くかは、大人たちの関係如何によって異なってくるはずで

そんな視点で現状の子育ての課題を見て、議論して、皆さんと一緒に模索していきたいと思



森川 知史 会長

はぐくみネットワーク推進協議会の高原和子です。社会教育に関わって20数年経ちました。家庭では、3人の子どもたちも、それぞれに家庭を持ち、父親、母親になりました。孫は7人です。地域では、「吸って吐いて自然体 歌は心のコミュニケーション」を目標に子どもからシルバー世代の合唱団の指導も30年になります。コロナ禍で会議や活動が、次々と延期や中止となる淋しい時を過ごしました。

世界では、ロシアによるウクライナ侵攻でウクライナの一般市民に対する非人道的な軍事行動に憤りを感じます。一日も早い停戦合意を望みます。困難な時代だけれど、多くの人たちと関わって笑顔あふれるやましろ未来っ子を育みたいと思



高原 和子 副会長

民生児童委員を仰せつかって18年目となりました。その間に、色々な方々との出会いがあり、顔見知りや気さくに声を掛け合える方も増え、嬉しく思っています。

また、近くの公民館で地域文庫もしています。先日、男子が声をかけてくれました。見ると小学校の時、文庫に来てくれていた子でした。もう大学生ということですが、忘れずに覚えていてくれてとても嬉しかったです。日々、身近で子どもさんの成長を見させていただける喜びを感じています。

これからも、顔の見える横のつながりを大切にしていきたいと思



島谷 千織 委員

八幡市男山第二中学校区学校支援地域本部の金子啓子と申します。

校区内の中・小・幼・こども園の安全、学習、環境、クラブ活動等、地域の子どもに寄り添い育む支援活動をしています。

コロナ禍で活動が制約される中では、登下校時の見守りなど、できることを行ってきました。緊急事態宣言解除後は、学習支援(中学生の補習)と卓球クラブ(小4・5・6年生)の支援を始めることができました。卓球クラブ支援は初めての取り組みで、統廃合で使われなくなった幼稚園舎の遊戯室をお借りして、児童と支援員が卓球をしています。使われず寂しかった園舎に、卓球クラブの明るい声が響き、花壇に花が咲き、園舎は掃除、植木の枝刈りや道路清掃などで息を吹き返したようです。コロナ禍のしんどい今、少しでも楽しく過ごせる地域になるよう活動をしていきたいと思っています。



金子 啓子 委員

保育現場で働いていた関係で退職後も委員をさせていただいています。自粛生活中は令和元年12月末!まさにコロナの始まりに生まれた孫と関わる日々を過ごしてきました。

孫と散歩中にマスク越しでも子育て中の方と距離をとりながら短い会話をして共感できる時があり嬉しく思いました。

たとえひと言でもコミュニケーションがとれることは幸せですね。またボランティア活動も少しずつ再開しながら今年も皆さんと一緒に学びたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



大西 康子 委員

今年度、山城地方小中校長会連絡協議会の代表として、推進協議会委員をさせていただいております、久御山町立久御山中学校長の布川宏と申します。

令和2年度から、コロナ禍の中での学校経営が始まりました。様々な試練や困難の続く現状ですが、この2年余りで再認識したのは、「人と人の繋がり大切さ」です。

未来を担う子どもたちが、この「はぐくみネットワーク」を通じて、多くの分野の人と繋がり、育まれることによって、さらに次世代へとその輪を広げていってほしいと願っています。微力ですが、何かのお手伝いができればと思っています。よろしくお願いいたします。



布川 宏 委員

この度、推進協議会委員をさせていただくことになりました山城北保健所綴喜分室の大西純二と申します。

私は生活保護世帯や生活困窮者世帯の子どもたちの状況について、担当者から話を聞いたり、担当者が作成した記録を読んだりすることにより知る機会があります。こうした世帯は経済的に困窮しているだけではなく、保護者などが様々な課題を抱えている場合があり、関係機関のみなさんと協力しながら、子どもたちが安心して育っていけるよう支援できればと考えています。

これから皆様と一緒に課題について考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



大西 純二 委員

平成 25 年度に公立幼稚園を始めとして、小学校・中学校・高校のPTA会長を、そして城陽市PTA会長・城久連PTA会長、山城地方PTAと京都府PTAの副会長などを務めさせていただきました。

この度、このような場で有識者の方々と意見を交わすことが出来ること、又、それぞれの方面からの「子ども達への愛情」を感じる事が出来ることを、大変嬉しく思っています。

コロナ禍により簡易化が加速し、決して簡易ではない人と人との繋がりがだんだん希薄になっていく危機感を感じています。

子ども達の人格形成に必要な社会環境をより良いものにするため、微力ではありますが頑張りたひと思ひます。



奥西 敦子 委員

令和元年度からはぐくみネットワークに参加させていただいている青木です。本協議会では、協議会の皆様が持っておられる様々な視点や御意見を知ることができ、私自身の視野を広げさせていただく機会ともなっております。

地域の力で、社会全体で子どもたちを育むことは、新型コロナウイルス感染症が収まらない状況にある今、ますます必要となるように感じています。

微力ではありますが、本年度も皆様と一緒に今ある課題を考へたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



青木 英明 委員